

いつも心に長崎を 第12号

令和7年9月29日(月)
長崎中学校学校だより
校長 鬼塚 喜隆

文化の秋～長崎ピース文化祭2025～

長崎ピース文化祭2025が、9/14(日)～11/30(日)、開催されています。「文化をみんなに」というキャッチフレーズのもと、長崎県全域を舞台として様々な催し物が行われています。

開会式は、天皇皇后両陛下のご臨席のもと佐世保市で開催されました。それに合わせて両陛下と敬宮愛子内親王殿下が終戦・被爆80年のご慰霊のため、長崎市をご訪問されました。私も沿道奉迎に参加したのですが、沿道からの歓迎の声に、にこやかに手を振り続けてお応えになる両陛下と殿下のお姿に、国民を思う強いお気持ちを感じ、非常に感激しました。また、この時、警備に当たっていたのが京都から派遣された警察官の方々でしたが、警備にありがちな高圧的な態度は全くなく、時にユーモアも交えながら「みんなの記憶に残る素敵な奉迎にしましょう」と呼びかけながら警備に当たる姿に、大変感心しました。

また、11/20(木)には応援事業として「長崎県中学校総合文化祭」が長与町民文化ホールで開催され、本校音楽部が出演します。長崎県下の中学校文化部の代表が集う大きな舞台上、美しいハンドベルの音が響き渡るのが今から楽しみです。

現在開催されているイベント中で、私が最もおすすめしたいのが、長崎県美術館で開催されている「皇室の名品と長崎 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」です。ここで展示されているのが国宝「蒙古襲来絵詞」です。教科書に掲載されている、元寇を描いた巻物の正真正銘の本物が展示されています。他にも、元寇で用いられた火薬を用いた武器である、海底から引き上げられた「てつはう」や、長崎にゆかりの深いあの「坂本龍馬自筆の書状」など、長崎に関係が深い、大変貴重な文化財に触れるまたとない機会です。しかも中学生はなんと「無料」で観覧できます。詳しい情報は、本日配布しているチラシをご覧ください。

まだまだ暑い日が続いていますが、暦の上では秋真っ只中。ピース文化祭をきっかけとして豊かな体験を重ね、文化の秋を満喫してほしいと思います。

充実の2泊3日～2年生修学旅行～

京都では、清水寺と三十三間堂を参拝し、日本人が継承し続けてきた文化の素晴らしさをひしひしと感じた様子でした。万博は噂通りの大混雑でしたが、大屋根リングに圧倒され、最新技術や世界各国の文化に触れ、貴重な体験ができました。マリンワールドではイルカショーで大歓声があがり、大刀洗平和資料館では戦争の現状そして平和の尊さについてじっくり学び、考えることができました。

